

ふくおかの経済

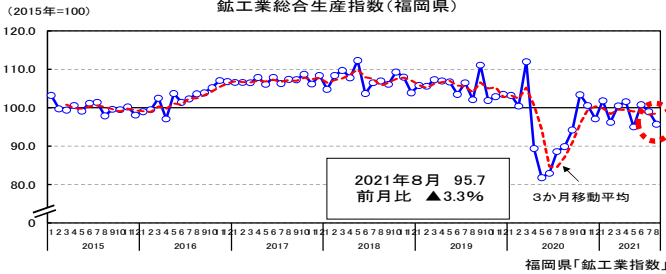
令和3年10月号



生産

このところ一部に弱さがみられるものの、持ち直している。

8月の生産指数は、輸送機械工業などの低下により2か月連続で前月を下回りました。

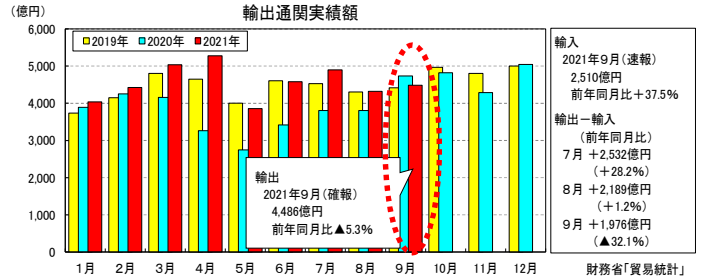


鉱工業生産指数は、2015年の生産水準を100として、その変化を表しています。

貿易

輸出は、増勢が鈍化している。輸入は、このところ持ち直しの動きに足踏みが見られる。

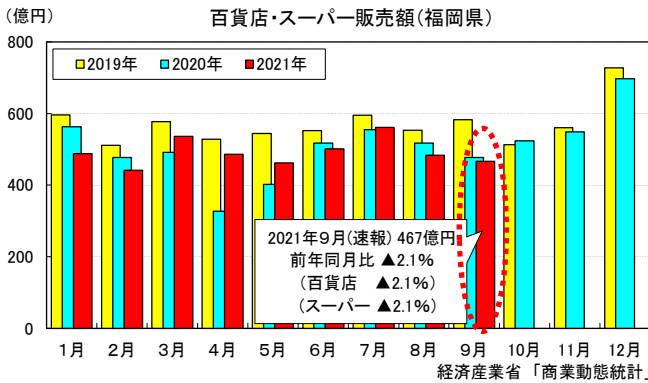
9月の輸出は、前年同月比▲5.3%と10か月ぶりに前年を下回りました。



消費

弱含んでいる。

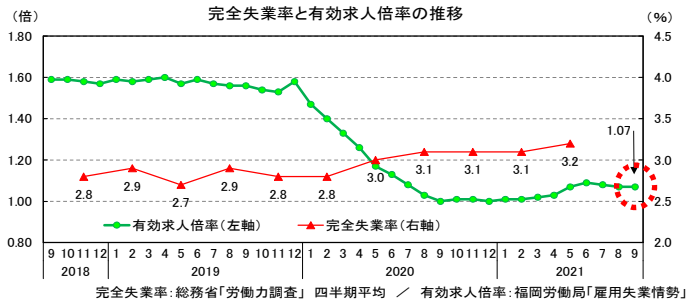
9月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比▲2.1%と2か月連続で前年を下回りました。



雇用

求人改善の動きが見られるものの、厳しさが見られる。

9月の有効求人倍率は1.07倍で、前月と同水準となりました。



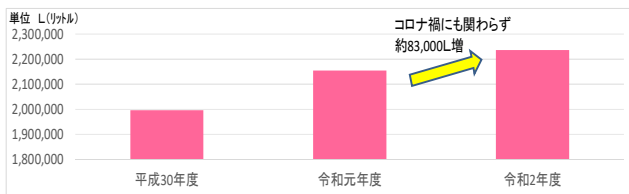
「仕事を探している人の数」に対する「企業の求人数」の割合が有効求人倍率です。1.00倍より大きいと、人手不足を表します。

今月のピックアップ コロナ禍でも増えた献血

○日本赤十字社が公表している統計によると、令和2年度は事業所や学校の会議室等を会場として行う献血(オープン献血)が減少したものの、常設の献血ルームにおける献血などが増加したことにより、前年度と比較して献血量は約8万3000L(リットル)増加しました(図表1)。コロナ禍の影響で外出自粛が求められていた中で献血量が増加していることから、人々の献血への関心の高さが伺えます。

○一方で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前から血液製剤の原料となる血液の需要は年々増加しており、令和2年度の献血血液の確保計画量は前年度から8万L増となりました(図表2)。令和3年度はさらなる献血血液の確保計画量の増加が見込まれており、コロナ禍における献血協力のため、街中に開設されている献血ルーム(図表3)を活用してはいかがでしょうか。

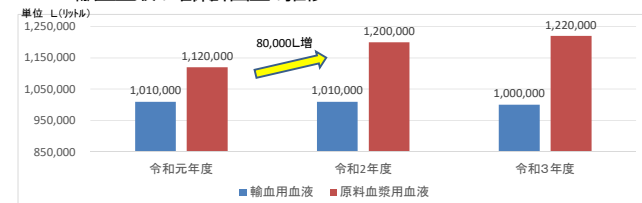
図表1 献血量の推移



図表3

献血ルーム	献血センター
献血ルーム おつしよい博多 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街2-1 博多パスターミナル8階	福岡県赤十字血液センター 〒818-8588 筑紫野市上古賀1丁目2-1
献血ルーム キャナルシティ 〒812-0018 福岡市博多区住吉1-2-25 キャナルシティ ビジネスセンタービル1階	九州ブロック血液センター 〒839-0801 久留米市宮ノ陣3丁目4-12
献血ルーム 天神西通り 〒810-0041 福岡市中央区大名1-15-1 天神西通りスクエア 地下1階	献血ルーム紹介のホームページはこちら！ https://www.bs.jrc.or.jp/bc9/fukuoka/place/index.html
献血ルーム くらさきクロバー 〒806-0036 北九州市八幡西区西曲里町3番1号 イオンタウン黒崎1階	
献血ルーム 魚町銀天街 〒802-0006 北九州市小倉北区魚町1-3-3 白樺ビル	

図表2 献血血液の確保計画量の推移



資料出所: 日本赤十字社